

## 第2号議案 平成30年度決算報告

### 決算概要

平成30年度は、前年の黒字転換を受けて、かねてより検討してきた将来の財政基盤強化に向けての諸施策を実行する段階へ歩を進めた年となった。会員増強策と経費節減活動をより強力に推し進めたものの、黒字は継続したが前年度を下回る実績となった。当年度も会員数減少による会費収入の縮小が継続し、加えて事業収入および寄附金収入も減少したことが要因にある。

経常収益合計が87,817千円で、対前年度比9,472千円、9.7%減少し、経常費用合計は86,590千円となり、8,968千円、9.4%減少した結果、当期経常増減額（経常利益）は、1,226千円となった。最終損益である当期一般正味財産増減額（当期利益）も同額であり、対前年度比504千円、29.1%の減少となった。

#### 収益の5年間の推移

(単位:千円)

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度
会費・入会金	53,848	55,625	56,587	56,621	58,047
事業収益	14,600	18,018	13,383	13,248	12,786
寄附金等	13,304	17,187	23,492	25,357	34,501
110周年記念募金寄附等	-	-	18,230	8,420	8,453
ネパール地震救援募金	-	-	5,893	22,051	-
その他収入	6,064	6,458	8,720	5,773	5,547
	87,817	97,289	126,306	131,472	119,336

#### 当会の収益の推移

当会の経常収益合計額は、87,817千円となり、いずれの収益も総じて減少しており、対前年度比で9,472千円、9.7%の減少となった。

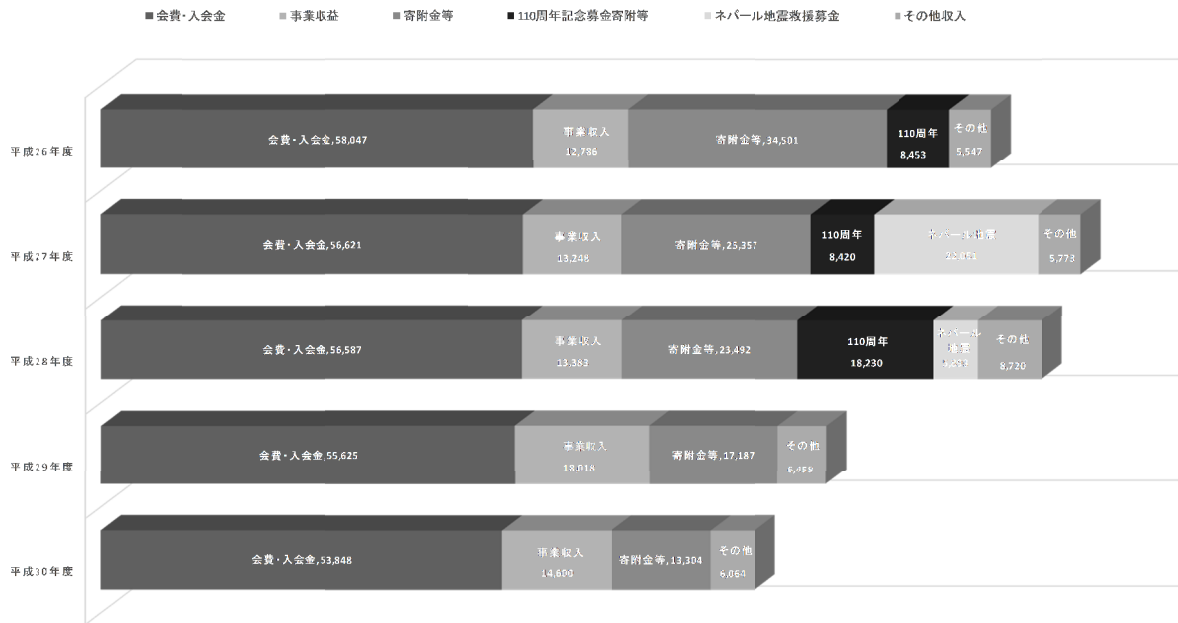
**会費・入会金**については、準会員は91名と安定的に増加しているが、正会員については、退会者と物故者が入会者を大幅に上回り、正会員数の純減（増加数と減少数を差引）は119名となった。このため、受取会費は50,653千円となり、対前年度比で3.0%の減少、会費と入会金の合計額についても3.2%の減少となった。上記5年間の推移表でも、会費と入会金の合計金額は減少を続けている。

**事業収益**は、主に年次晩餐会の参加料収入（当期7,290千円）等であるが、合計で14,600千円となり、対前年度比で3,417千円、19.0%減少している。これは支部での登山講習会の中止等により、登山講習会収益が2,395千円減少したことによっている。

**寄附金等**については、補助金が824千円、寄附金が12,480千円であった。寄附金については会員寄附金についてはほぼ横ばいであったが、大規模な寄附募集が少なかったことから、会員以外からの寄附金が1,973千円減少した結果として、当年度は前年度比3,882千円、22.6%の減少となった。

**その他収入**の内訳は、支部開催行事参加費や保険取扱手数料収入等雑多なものであるが、当年度は合計額で6,064千円となり、前年度比392千円の微減となった。

### 収入の5年間推移



### 事業費と管理費の推移

事業費については、総額で 86,590 千円となり、対前年度比 8,968 千円、9.4%の減少となっている。これは事業費において、費目別には旅費交通費が 1,936 千円、印刷製本費が 2,635 千円減少したこと等がその要因である。

事業費は「公益法人会計基準運用指針」に例示された科目により表示しているが、事業ごとの成果を明らかにするため、ここでは本会で管理のために利用している事業区分に従って説明する。

	(単位千円)	
	平成30年度	平成29年度
出版事業費	11,652	12,893
図書管理事業費	6,066	5,791
支部事業費	16,989	23,926
高尾の森づくり事業費	2,156	2,521
YouthClub事業費	1,391	2,118
山岳研究所等事業費	6,765	6,855
家族登山普及事業費	387	887
その他事業費	17,037	16,416
事業管理費	19,926	19,967
管理費	4,218	4,179
合計	86,590	95,558

**出版事業費**は、11,652千円となり、対前年度比1,241千円、9.6%の減少となった。この要因は印刷コスト（印刷製本費）の削減によるものである。

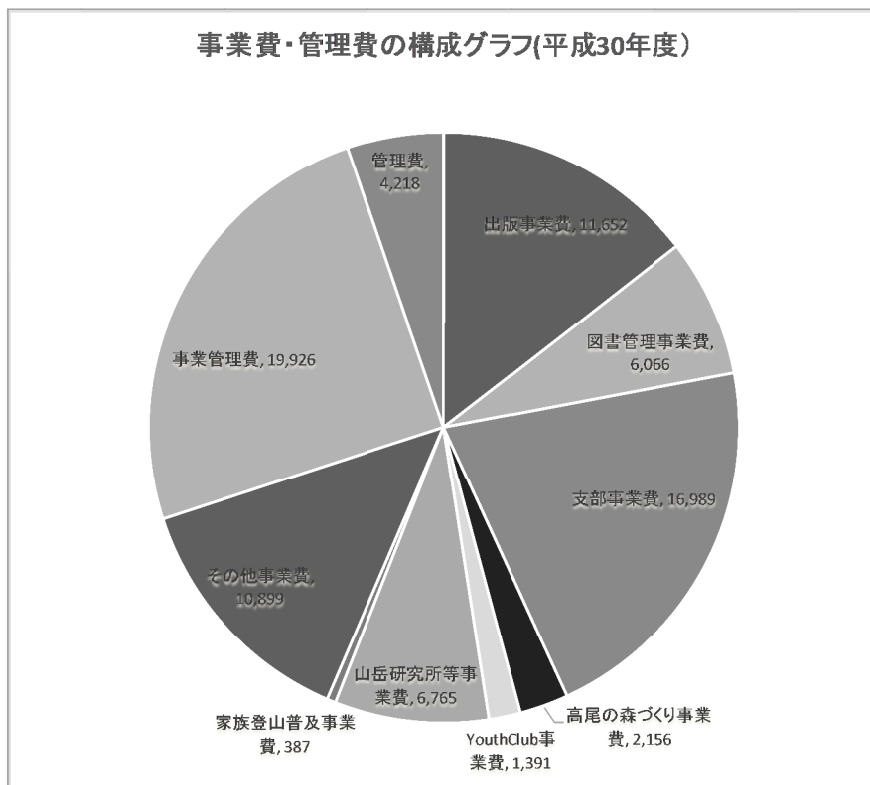
**図書管理事業費**は、図書委員会の活動費と本会の有する山岳図書館の管理費用からなっており、当年度は6,066千円となり、対前年度比274千円、4.8%の増加となった。これは雑誌の製本費用等の増加によるものである。

**支部事業費**は、各支部に交付した運営交付金及び支部事業助成金6,380千円と新入会員獲得奨励金708千円、特別事業助成金等1,000千円を原資の一部とする支部の活動費用である。当年度は、16,989千円となり、対前年度比6,936千円、29.0%の減少となった。この要因は、広島支部での運営体制見直しに伴い、登山講習会が中止となり各種費用が減少したことによるものである。

**山岳研究所等事業費**（上高地山研の維持費用、ミニ水力発電事業費含む）は、当年度は6,765千円、前年度比90千円の微減となった。上高地山岳研究所は、利用者とその収入は増加傾向にあるものの、建物の経年劣化による修繕費用の増加も続いている。当年度には屋根・外壁の塗装及び受水槽を更新して4,590千円を固定資産に計上した。

**その他の事業費**は、年次晩餐会の参加費によって賄われる開催費用等が主な支出であるが、当年度の参加者が減少（33名減の486名）したことにより支出も若干減少している。その他の事業費全体では17,037千円となり、対前年度621千円、3.8%の増加となった。当年度に青年部の海外登山遠征による費用等が966千円増加したことがその要因である。

**事業管理費及び管理費**（間接費）については、本部事務所の維持費用及び人件費、通信費、支払手数料等であるが、経費節減に努めた結果、4,218千円、対前年度39千円、0.9%の微増に留まった。



主な事業費・管理費の3年間グラフ

